

論説文の組み立てを読み取ろう

名前 _____

読解文

問1 本文を読んで答えなさい。

私たちは何かを覚えようとするとき、間違えないことを目標にしがちである。しかし私は、学ぶ途中の間違いには大切な役割があると考えている。間違えると、自分がどこまで理解し、どこから分からなくなったのかが見えやすくなるからだ。

例えば英単語を覚えるとき、同じ単語を何度も間違えたなら、その単語だけを集めて復習できる。もし間違いを記録せず、正解した問題だけを見ていたら、自分の弱いところには気づきにくい。

もちろん、同じ間違いを何度も繰り返すだけでは十分ではない。なぜ間違えたのかを考え、次はどうすればよいかを確かめる必要がある。

このように、間違いは避けるだけのものではなく、自分の学び方を見直す手がかりとして利用できる。だからこそ、学習では間違いを恐れるより、その後にどう振り返るかを大切にしたい。

筆者の中心的な考えとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 学習では一度も間違えないことが最も大切だ
- イ 間違いは振り返ることで学び方を見直す手がかりになる
- ウ 英単語は間違えたものだけ覚えればよい

答え イ

補足：本文全体をまとめた筆者の主張を選ぶ。

A 主張

問2 筆者が『学ぶ途中の間違いには大切な役割がある』と考える理由を表す一文を抜き出しなさい。

答え 自分がどこまで理解し、どこから分からなくなったのかが見えやすくなるからだ。

補足：理由を直接述べている一文を抜き出す。

問3 本文前半で筆者が見直そうとしている考えとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 学習では、間違えないことだけを目標にするという考え
- イ 間違えた問題を復習するという考え
- ウ 自分の弱点を確かめるという考え

答え ア

補足：冒頭の「間違えないことを目標にしがち」という考えを、筆者がその後の説明で見直していることを踏まえる。

B 理由・具体例

問4 英単語の具体例は、どのようなことを示すために挙げられていますか。

答え 間違いを記録すると、自分の弱いところを見つけて復習に生かせること。

補足：『間違いから弱点に気づけること』など要点が同じなら可。

問5 『もちろん、同じ間違いを何度も繰り返すだけでは十分ではない。』とあるのはなぜですか。

- ア 間違いをしたらすぐに忘れる必要があるから
- イ 間違えた理由を考え、次の方法を確かめることが必要だから
- ウ 正解した問題だけを復習する必要があるから

答え イ

補足：直後の内容が理由になっている。

C 段落の役割

問6 英単語の例が書かれている部分の役割として最も適切なものを選びなさい。

- ア 筆者の考えを具体的な場面で分かりやすくする
- イ 筆者とは反対の意見を紹介する
- ウ 文章の話題を別のものに変える

答え ア

補足：具体例が主張をどのように支えているかを考える。

問7 文章の流れとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 問題となる考えを示す→筆者の考えと理由→具体例→注意点→結論
- イ 具体例→結論→反対意見→理由→問題提起
- ウ 結論→具体例→筆者の考え→別の話題→理由

答え ア

補足：本文の各部分の役割を順番に整理する。

D 結論

問8 本文の内容を踏まえ、筆者が学習で大切にしたいと考えていることを四十字以内で書きなさい。

答え 間違いを恐れず、なぜ間違えたかを振り返って次の学習に生かすこと。

補足：『間違えた理由を振り返る』『次の学習に生かす』の二点を含めば正答とする。『間違いを恐れない』は含まなくてもよい。